



THE ROTARY CLUB OF SADOWARA WEEKLY BULLETIN

# 佐土原ロータリークラブ週報

行動に信念を  
信念は行動に



佐土原ロータリークラブ

例会日 毎週金曜日 (12:30~13:30)  
 例会場 ホテル神宮寺 TEL 0985-73-0015  
 事務局 〒 880-02 佐土原町大字下田島9883番地1  
 TEL 0985-73-0015

BELIEVE IN WHAT YOU DO DO WHAT YOU BELIEVE IN

1993. 12. 3 (金) 第296回例会

1. 点 鐘
2. 国歌斉唱
3. ロータリーソング「我等の生業」
4. 「四つのテスト」唱和
5. 食 事
6. 会長の時間
7. 幹事報告
8. 各委員会報告
9. 12月セレモニー(誕生日・結婚記念日祝)
10. 会員卓話 濱田 松太郎 君
11. 点 鐘

## 第295回例会記録 (1993. 11. 26)

会長の時間 正 岡 文 郁

皆さん今日は、本日は第295回例会です。  
 始めに、佐土原ロータリークラブに近くご入  
 会予定の3名の方が、例会の雰囲気を楽しむた  
 めご出席下さいましたので、ご紹介いたします。

大野文化堂社長 大野 高 志 氏  
 池上精機(株)次長 村田 誠 治 氏  
 森山保険事務所長 森 山 浩 生 氏

ご多忙中をお出でいただき、誠に有難うござ  
 いました。ご入会をお待ちしております。

昨日、大光寺にシンガポール親善使節団のう  
 ち4名の方が、本県関係者数名と共に見えに  
 なりました。先ず国・県指定重要文化財を見学

された後、希望により坐禅を行いました。

幸い4名の中に都城出身で、シンガポールで  
 結婚された女性がおられ、通訳をしていただき  
 ました。非常に真面目な方ばかりで、感銘させ  
 られた次第です。

シンガポールはイギリス連邦に属する独立国  
 で、中国・イギリス・フランス・オランダ・マ  
 レーシア・インドネシアなどの多くの人種が住  
 んでいる国だそうです。しかし、それにもかか  
 わらず国民は非常に仲が良いとのこと。

“世界は一つ”という考えを勉強しておられる  
 のに、つくづく敬服いたしました。単一民族で  
 あるわが国は、もっと国民が仲良くし、精神面  
 の豊かさに目を向けなければいけないと思いま  
 す。「衣食足りて、礼節忘る」、「自分さえよ  
 ければいい」という風潮を早く是正すべきです。

私たちロータリアンは社会に範を示すことが  
 大切であると考えます。

毎週日曜日の午後5時から10分間、MRT  
 ラジオ放送で『ロータリー広報』を行っていま  
 すので、会員の皆さんは勿論、ご近所の方々  
 にも是非聴いていただくようお願いしてください。

幹事報告 池 田 仁 志

1. 例会変更通知  
 \*宮崎西RC 12月3日 18:00  
 ホテル・フェニックス
2. 台北で開催されます国際ロータリー年次大  
 会への旅費等の案内が来ていますので、出  
 席ご希望の方は幹事までご連絡して下さい。

### ビジター

宮崎北RC 美原 道 輝 君  
 高鍋RC 木 許 義 成 君  
 西都RC 長 友 正 三 君

出席報告 委員長 神宮寺 利 夫

会 員 数	18名
欠 席 者 数	5名
H C 出 席 者 数	13名
メークアップ者数	3名
出 席 率	88.9%
欠 席 者 名	垂水・斉藤

ロータリー財団委員会より

委員長 濱田 松太郎

今日は「ロータリー財団月間」であります。国際ロータリー財団の目標は、「国際レベルの人道的、教育的プログラムを通じて、世界理解と平和を達成することである」と明記しております。

ロータリー財団の起源は、第6代国際ロータリー会長アーチ・クラフが、1917年のアトランタ大会で、「世界中で善いことをする目的のために基金を設置することは極めて妥当なように思われる。」と提唱があり、大会で決議され、その1年後に最初の寄付金26,500ドルがカンザス市のロータリークラブから寄せられました。1947年、ホール・ハリスの逝去に際し、このロータリー創始者を称える追悼寄付金が続々と集まり、ここに「ロータリー財団」の新しい時代が始まったのでした。

ロータリー財団の組織には、「ロータリー財団管理委員会」があり、RI会長が理事会の承認を得て任命した13名の委員で構成されています。同委員会の主な役割は次のとおりです。

- 1) 財団の一切の基金と財産の保全、その投資及び管理。
- 2) 財団のプログラム、事業活動を計画し、その資金管理と評価査定。
- 3) 寄付金募集、寄付金受取方法などについての方針決定。
- 4) 財団を支持するロータリアン、ロータリークラブ、その他に対する適切な表彰形式の決定。
- 5) 財団の発展を促進し、一般の人々に財団についての正確で分かりやすい広報。

ロータリー財団の活動には次のようなプログラムがあります。

(イ) 国際親善奨学金

学生を海外に派遣して、奨学金を支給し勉強させることによって、国際理解と親善に貢献するのを目的としている。わが国からの奨学生も卓越した人材が輩出し、帰国後各界で功績を挙げています。

ロ) 研究グループ交換 (GSE)

異国間のロータリー地区が一对となって、事業並びに専門職務に携わる25歳～35歳の男女4人または5人から成る研究チームを交換し、国際理解を推進するものです。

ハ) 同額補助金

財団は、ロータリークラブと地区が国際的なプロジェクトを実施した場合、それを支援するため同額補助金を授与しています。クラブや地区は、少なくともロータリー財団に補助を要請した金額と同額の寄付をしなければなりません。

ニ) 保健、飢餓追放及び人権尊重補助金

3H補助金とも言いますが、世界の人々の健康を向上させ、飢餓を救済し、人間的・文化的・社会的発展を助長するために資金を提供しています。

ホ) 開発途上国に奉仕する大学教授のためのロータリー補助金

ヘ) ポリオ・プラス

ロータリー創立100周年の2005年までに、世界の子供にポリオの免疫を受けさせようという財団プログラムで、連続5年間までポリオ・ワクチンを提供します。

ト) ロータリー・ボランティア補助金

ロータリー・ボランティアの奉仕活動に対して、ロータリー財団から助成金を授与しています。

チ) ロータリー平和プログラム

平和、紛争、国際関係に関する諸問題について、ロータリアンや一般の人々を啓発し、専門家との討論を促すための広範囲にわたる諸活動と一連の会合を行っています。

理事会概要報告

1994～95年度	会長 池田仁志君
	幹事 藤堂孝一君
1995～96年度	会長 鈴木正敏君